

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

2月22日、23日に第105回薬剤師国家試験が行われました。今回の出願者数予測（メディセレ調べ）は昨年度より11人少ない、1万5,785人です。しかし、出願してから卒業延期生が出る大学もありますので、受験者数は1,500人ほど減るのではないのでしょうか。6年生の50%近くを留年生にしたという大学もありますので……。ちなみに合格発表は3月24日なので、それまでは分かりません。

さて、前回も触れました「日本青年会議所医療部会」の春季総会で、関西学院大学工学部生命科准教授の関由行先生にお越しいただき、再生・生殖医療についてお話いただきました。関先生は何と薬学部出身の薬剤師であり、研究分野でご活躍されています。

特に生殖医療のお話は希望と夢があふれていました。今、夫婦の6組に1組が不妊に悩んでいるといわれるほど、不妊が社会問題になってきています。ところが、なんと生殖医療を用いて皮膚細胞から精子と卵子を作れるところまで来ているそうです。つまり、同性カップルでも子どもが作れる可能性があるということです。もちろん、これには倫理的にも道徳的にも課題があります。

再生・生殖医療は著しく発展しています。もしかすると今後のスパイ映画などでは、「皮膚細胞を奪取せよ!」といった内容のものが出てくるかもしれませんね。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子